

施設長就任のご挨拶

障がい者支援施設石川学院

日頃より、社会福祉法人起産石川並びに石川学院に対し、利用者の皆様はじめ、ご家族様、地域の皆様等、多くの方々に温かいご支援、ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

この度、令和4年4月1日付で、障がい者支援施設石川学院の施設長に就任しました、玉城（たましろ）と申します。

当法人には、平成10年9月の開所当初から務めております。その当時、ノーマライゼーションの潮流の中、2003年4月にこれまでの措置制度から支援費制度が施行され3年後の2006年4月に障害者自立支援法に移行、更に2013年4月には、現法の障害者総合支援法へと制度変更がなされ、激動の15年間であったと感じております。

入所者の地域移行が推進される中、当施設では、利用者各々が更なる自立生活を送ってもらうため多くの施設利用者がグループホームへ移行いたしました。

今後も続くであろうコロナ禍で、利用者支援を取り巻く環境は厳しい状況が予測されます。そのような中、施設長という大役を仰せつかり、その職責の重大さに戸惑いもございますが、「元気は困難を切り開く最大の糧」というヘミングウェイの名言のように、元気をエネルギーとし職員結束して、利用者様の安全が保たれ、充実した生活を送っていただけるよう努めてまいります。

そして、地域に溶け込んだ施設づくりを継承し役割を果たしてまいり所存でございます。微力ではございますが、ご指導・ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

障がい者支援施設 石川学院
施設長 玉城 浩二



母の日のプレゼント作り

居住支援事業所花かご のぼたんホーム2F



約2年、以前のように制限なしではご家族に会えない状況が続いています。この日は、お母さんへの感謝の気持ちを込めて母の日に向け写真と写真立てのプレゼントを作成しました。

“お母さん大好き！いつもありがとう”

（生活支援主任兼世話人：新里さつき）

Happy Mother's Day!

SDGs Goals 14

綺麗になったー！！



4月12日、石川ビーチでビーチクリーン活動を行いました。ビーチに到着すると「がんばるぞー！エイエイオー！」と皆さん気合十分！ゴミを拾う担当とゴミ袋を持つ担当に別れ、全員で協力しゴミを拾い集めました。当日は晴天で海がとても綺麗でしたが、砂浜にはペットボトルやプラスチックゴミが多く、数十分でゴミ袋がいっぱいになってしまいました。いつまでも、きれいな海を楽しめるように「ゴミをポイ捨てしない」「来た時よりも美しく」等、一人一人がそんな意識で沖縄の財産「美ら海」を守っていただけたらいいですね。（生活支援員：柴引 友香）



SDGs勉強会

児童デイサービス石川学院



児童では、SDGsに取り組むために毎月の利用者ミーティングで、月毎の目標を決め翌月には、実行できたかなど“振り返り”を行う事になりました。4月の第1回目は、ネットで検索できるアイデアシートと動画を視聴し、SDGsとは何かを知り石川学院では何ができるかを皆で考え、何を目標とするかについて話し合いました。1ヶ月を通して、利用者の皆さんや職員がどのような取り組みができたか、次回のミーティングでの発表が楽しみです。是非、ご家族でも取り組んでみてはいかがでしょうか。 ※4月目標※ **目標6「安全な水とトイレを世界中に」** **目標15「陸の豊かさを守ろう」**
 （児童指導主任：大築 功）



5月といえば「母の日」法人の母！太理事長に普段伝えることの出来ない感謝の気持ちを実感しようと、こっそり母の日プレゼントを制作しました。ハート型の色紙を前に、みんな「太さんに何を書こうかなー」とワクワクしながら愛を込めてメッセージを書き込み完成(^^)♡ 毎日楽しく作業が出来る事や、ホームで安心して過ごせる事等に今まで以上に感謝をして、これからもみんなでこみこみを盛り上げていきたいです。「お母さん、いつもありがとう♡♡大好き——(*^^*)♡」

(職業指導員：湯田 いくみ)

鯉のぼり創作 コロナ終息を願って



みほそでは、創作活動として毎月ペーパークラフトで季節にあった壁飾りを作るのが恒例になっています。今回はコロナ終息を願って、鯉のぼりに決定★利用者さんたちは「屋根より高い～鯉のぼり～♪」と口遊みながら楽しそうな様子！細かい作業にも慣れた手つきであったという間に完成しました。またカーネーション作りにも挑戦し、色とりどりの鯉のぼりと合わせて、みほその雰囲気が明るくなりました。

(指導員：山城 優菜)



社会福祉法人 起産石川

〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-1

障がい者支援施設石川学院

児童デイサービス石川学院

Tel:098-964-2286 Fax:098-965-6004

生活介護センター石川学院

Tel:098-964-2239 Fax:098-965-6004

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

就労支援事業所 こみこみ

(就労移行支援 就労継続支援B型)

Tel:098-963-0073 Fax:098-963-0074

居住支援事業所 花かご

ふきのとうホーム・のぼたんホーム1F/2F

居住支援事業所 風

かぐや姫ホーム・ちゅうりっぷホーム

居住支援事業所 きさん

ぼこ・あ・ぼこホーム

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

相談支援センター石川学院

強度行動障害支援者養成研修及び、精神障害者の地域移行関係職員に対する研修を修了した、相談支援専門員を配置しています。

Tel:098-964-2445 Fax:098-964-2446

〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-2

ロジャーズ館 3F

社会福祉法人 起産石川 事務局

Tel:098-964-2286 Fax:098-964-5055

〒904-1106

うるま市石川2-2-1 108号

地域活動支援センターみほそ

Tel:098-989-8146

Fax:098-989-8147

Mail: mihoso@otc.ne.jp

facebook



発行日:令和 4年 5月15日発行

発行責任者:理事長 太 直美

編集担当者:事務局長 大嶺 徳子

<https://kisanishikawa.jp/>



新型コロナウイルス感染症クラスター発生について

社会福祉法人起産石川

4月14日の職員定期PCR検査（2週間毎に検査実施）の結果、職員10名の陽性者が確認されました。同時期にグループホーム及び入所利用者の陽性者が確認され、4月14日より生活介護センター、児童デイサービス、就労事業所の営業を自粛しました。

4月16日沖縄県感染対策室や県立中部病院の医療チームのご指導、ご協力をいただき、一層の感染対策を実施しましたが、あっという間に感染は拡大し、感染者数は入所利用者30名、ホーム利用者23名、職員53名となりました。

感染した利用者及び職員は4月24日より順次、解除となり、5月9日にはすべての感染者について保健所より解除の報告を受け自粛していた事業所の営業を再開することができました。

日頃より感染防止対策を実施してきましたが、ひとたびウイルスが入ると、このように急速に感染拡大する恐ろしさを思い知らされました。

コロナウイルスも変異を繰り返し、これからも、見えないものとの戦いが続いていきます。利用者へ、つらい思いをさせないよう、職員一丸となって、感染防止対策を継続して参ります。

保護者並びに関係者の皆様には多大なご心配、ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。又、沖縄県感染対策室や県立中部病院医療チームの皆様には大変お世話になりありがとうございました。（事務局長：大嶺 徳子）

職員インタビューNo.71

地域活動支援センターみほそ

指導員 山城 優菜

Q1:入職の経緯と仕事の魅力を教えてください:

事務職の求人を探している時に、直感で「ここで働きたい!」と思いました。実際入職してみると優しい人ばかりで、毎日安心して働ける環境の良い職場です。

Q2:モットーは?: 謙虚であることです。

Q3:利用者さんとの思い出は?:

入職して初めての行事（クリスマス&忘年会）で利用者さんが楽しく踊っている姿に感動したことです。一日も早くコロナ終息し、忘年会等、行事が開催されることを願ってます。

Q4:趣味・はまっていることは?: ダイエットです。

Q5:今後の目標は?:

この春みほそに異動したことをきっかけに、福祉分野についての知識を身につけ、指導員として頑張りたいです。

Q6:バトンはどなたへ?:

入所の上地主任です。



リモート面会は引き続き実施いたします。ご希望される方は日程調整等がございますので、事前に下記までご連絡下さい。

入所施設 サービス管理責任者 喜久川政博 098-964-2286